

令和6年度 串間市立金谷小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン：豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断し、進んで実践するたくましい児童の育成

【評価】 4：十分にできている、3：おおむねできている、2：あまりできていない、1：ほとんどできていない

重点目標	評 価 項 目	平均（4点満点）					考察及び改善策	評価委員	学校関係者評価委員の意見
		児童	保護者	職員	平均	総合			
確かな学力の向上【知】	① 学校は、「ひなたの学び」を基本とした積極的な授業改善による学力（特に読む力・書く力）の向上及び個別最適な学びの工夫に努めている。	3.0	3.2	3.1	3.1	3.2	<p>総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率は83％である。</p> <p>①について、県教委が推進する「ひなたの学び」を実現するために学力調査の分析や校内での一人一研究授業などに取り組んでいる。また、毎週1回朝の時間を「学力向上」とし、学びの基本や発想力の育成に取り組んでいる。特に、PTAより半額負担いただいた学習ソフトを活用し、児童一人一人の達成度に応じた、個別最適な学びの育成に取り組んでいる。今後は、学力テスト結果の分析を通して、児童の弱点の補強に努めていくとともに、次年度も引き続き学習ソフトを活用し、一人ひとりの学力向上を図っていく。</p> <p>②について、学年ごとの読書目標冊数を見直し、読書活動の推進に取り組んでいる。今年度は、全校での読書目標冊数を1900冊に設定し、1月14日現在、全校で1419冊読んでいる。昨年度に引き続き、毎週はじめ・朝の時間にボランティアによる読み聞かせを実施したり、児童の委員会活動による書籍紹介を行ったりしながら、本に親しむ環境づくりに努めている。児童の評価（2.6）、達成率（64％）が十分ではないので、次年度は家読の日の在り方を見直す等に取り組む、児童が充実感を得られるような読書活動の工夫改善を行ってきたい。</p> <p>③について、俳句や詩などの作品募集に積極的に出品し、多くの作品が優秀賞に選ばれた。表現力の育成のために、毎月の俳句の時間の実施、俳句月間賞の表彰、給食放送での児童作品紹介等に取り組んでいる。今後も、児童の自信につなげられるよう、表現力の育成に努めていきたい。</p>	3	<p>〇 家での読書量や読書時間が減っているように感じる。テレビや動画視聴などに費やす時間が多いことが原因と考える。また、これによる健康被害も気になる。本の世界のおもしろさが伝わるような呼びかけや指導が必要だと考える。また、本を読む習慣が身につくような手立てを学校及び家庭で推進していくことも重要である。</p> <p>学力調査等の問題の傾向として、読み取りや場面を想像する力が求められる。また、文章で考えをまとめる力も求められる。このような資質能力の育成が子ども達に求められていることを、保護者にも理解してもらいたい。</p>
	② 学校は、読書の時間や家読等による読書の習慣化に努めている。	2.6	3.5	3.4	3.2				
	③ 学校は、集会における発表や各種作品応募による表現力の育成に努めている。	3.1	3.7	3.6	3.5				
危機回避能力と豊かな心の育成【徳】	④ 学校は、命を大切にする教育や人権教育、異学年交流による思いやりの心の育成（いじめ防止対策の徹底を含む）に努めている。	3.0	3.5	3.5	3.3	3.5	<p>総合評価は、4点満点中「3.5」で、達成率は86％である。</p> <p>④について、毎月児童へのアンケートや教育相談、職員によるハートフル委員会（情報共有・協議）を実施し、児童の小さな変化に全職員で共通理解、共通実践を行えるよう取り組んでいる。また、命を大切にする教育の推進のために5・6年生を対象に串間市医療介護課保健師を招いての「SO Sの出し方教室」、全校児童を対象に宮崎法務局日南支部、日南人権擁護委員を招いての人権学習を実施した。今後も、普段の道徳授業等での人権教育の充実、積極的な外部人材の活用等を図りながら、思いやりの心の育成に努めていきたい。</p> <p>⑤について、年間6回実施の避難訓練で、児童・職員が危機意識をもって地震や津波、火災、不審者対応等の対応にあたるよう工夫・改善しながら取り組んでいる。避難訓練の状況について、警察署や消防署の方から称賛の声をいただいている。今後は、登下校時も含む学校生活全般で、児童が自ら考え、行動できる実践力の向上に努めていきたい。</p> <p>⑥について、毎月行われている全校朝会や毎学期行っている地区集会等で、基本的な生活習慣の向上について呼び掛けを行う。また、校内掲示や全校朝会後の振り返りカードの作成・掲示などによる繰り返し指導によって、児童の規範意識の向上に努めている。児童の評価（2.9）、達成率（68％）が十分とは言えず、凡事徹底を意識しているが実践が伴わない状況が考えられる。今後は、スクールワイドPBS（児童の望ましい行動を育てる支援方法。学校全体で、できていないことに着目するのではなく、できていることに着目した指導を行うこと）による指導を展開しながら、自信をもって基本的な生活習慣の定着に取り組む児童の育成に努めていきたい。</p>	3	<p>〇 豊かな心の育成を進めるにあたり、子ども達の話や大人がしっかりと聞いていくことが大切である。子ども達が考えていることを否定せず、しっかりと聞いて、褒めながら、一緒に取り組み、心の成長を促して欲しい。また、「話を聞くこと」にあわせて「言葉かけ、伝え方」も大切である。思春期の子ども達は、厳しい言葉を投げかけても、指導が入っていかない。学校、家庭が連携しながら、出ていないことに着目するのではなく、出ていることを称賛し、伸ばしながら、全体として成長していく姿を見守って欲しい。</p>
	⑤ 学校は、避難訓練、集団下校等による危機回避能力の育成に努めている。	3.6	3.7	3.6	3.6				
	⑥ 学校は、凡事徹底（挨拶・返事・言葉遣い・片付け・親切な行動等）の取組を含めた基本的な生活習慣の定着に努めている。	2.9	3.6	3.6	3.4				
たくましい体の育成【体】	⑦ 学校は、スクールスポーツプランによる体力の向上に努めている。	3.1	3.3	3.2	3.2	3.2	<p>総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率は80％である。</p> <p>⑦について、毎日の朝の会でのストレッチ体操、毎月朝の時間に実施している「体力向上」タイムでの活動を通して、児童の体力向上に努めている。今年度実施した体力テストでは、昨年度課題であった女子「長座体前屈」は向上したが、男子「シャトルラン」は引き続き改善が必要である。また、全校児童共通で「ボール投げ」が課題である。今後は、課題の改善に向けて、体育授業前のトレーニングの工夫改善や昼休みの外遊びの奨励などを行いながら、体力向上に楽しんで取り組む児童の育成に努めていきたい。</p> <p>⑧について、養護助教諭を中心に、児童の食育指導の充実を図るために各学年、年間2回栄養教諭と学級担任のチームティーチングによる授業を実施したり、保護者への啓発を図るために学校保健委員会の工夫改善や保健だよりの定期的な発行を行ったりしている。今年度のむし歯治療率が66.6％となり、昨年度より大幅に上がった。児童の評価（2.7）、達成率（64％）が十分とは言えず、よりよい食育や健康的な生活への態度が身に付きつつあるが、実践が伴わない状況が考えられる。今後も、継続して健康的な生活習慣の定着に努めていきたい。</p>	4	<p>〇 今年度のむし歯治療率の向上は、とても素晴らしい取り組みである。串間市の状況として、歯科医が少なく、治療に行くことが容易ではない状況である。しかし、健やかな子ども達の成長のために、学校、家庭が一元となって、健康的な生活や生活習慣の確立に向けて、引き続き努力して欲しい。</p>
	⑧ 学校は、食育指導や健康指導による健康的な生活習慣の定着に努めている。	2.7	3.5	3.4	3.2				
開かれた学校づくりの推進【連携】	⑨ 学校は、総合的な学習の時間（くしま学を含む）の学習を中心とした「くしま愛」の育成に努めている。	3.4	3.5	3.5	3.5	3.3	<p>総合評価は、4点満点中「3.3」で、達成率は82％である。</p> <p>⑨について、1・2年生の生活科、3～6年生の総合的な学習の時間での地域を題材にした学習を通して、地域への興味関心の向上に努めている。新型コロナウイルス5類移行に伴い、地域に出向いての学習活動の機会も増えてきた。今後の課題として、教科と地域を題材とした学びのつながりを意識し、より児童の成長を促す学習活動の整備に取り組んでいきたい。</p> <p>⑩について、これまでの活動に併せて、1～4年生を対象にした障がい者就労施設あすか園の施設訪問、全校児童を対象にした下弓田高齢者とのグラウンドゴルフ交流会など、地域施設や人材を題材にした学習の機会を設けることができた。今後も、保護者や地域の思いや願い等を踏まえながら、金谷小ならではの学習の創造に努めていきたい。</p> <p>⑪について、毎月の「学校便り」発行、定期的な学校ホームページの更新を行いながら、金谷小教育活動の広報に努めている。また、行事等で来校された地域の方々に学校ホームページの紹介を行い、ホームページ閲覧者が増加している。今後も、積極的な教育活動の情報発信に努め、地域の中の学校としての役割を担っていきたい。</p>	4	<p>〇 コロナ以前は、金谷小学校区の福祉施設との交流が盛んで、放課後や休みの時に施設及び施設利用者との関わりを子ども達がもっていた。また、福祉施設がどのようなことをを行っているか理解することで、福祉の仕事への興味関心を高めているものと考え。今後も、地域を題材にした学習に大いに挑戦して欲しい。</p>
	⑩ 学校は、授業等における外部人材や地域素材の活用に取り組んでいる。	2.8	3.3	3.2	3.1				
	⑪ 学校は、学校便りや学校WEBによる広報活動の充実に努めている。	3.2	3.5	3.4	3.4				